

氏 名	職 名
楠野 宣孝	樟蔭中学校・高等学校 理事・校長
小山 健蔵	大阪教育大学 教授
傳馬 美弘	大阪市立市岡東中学校長
加藤 昭弘	大阪市立波除小学校長
野上 千春	社会福祉法人 波除学園総園長
塚目 晃広	保護者代表 (PTA 会長)

学校長あいさつ

- ・ 平成 29 年度入試の英語の資格を持った生徒の点数評価について
- ・ 全クラスに電子黒板の機能付きプロジェクターの設置完了

1. 自己紹介

2. 会長の選出

楠野宣孝委員を全員一致で選出

3. 協議

(1) 「平成 28 年度学校経営計画及び学校評価」について

1. 確かな学力の育成

- ・ 電子黒板を使用している、という点ではよくやっているという印象
- ・ 司書室に書画カメラが 5 台あるのであれば、生徒が発表するために使っていくことができると思う (生徒の書いたノートをその場で映し出すなど)
- ・ 進路実現は学校の顔となるもの。そのための指導をもっと重点的にやる

2. 豊かな自己実現の支援・夢や目標を持った生徒の育成

- ・ 土曜日の活用ができない。平日の放課後に補習を実施
- ・ F システムの活用が十分ではないのが今後の課題
- ・ 遅刻者が前年度からのべ 600 増
- ・ 部活加入率をもっと上げる必要がある。男子は 65% を上回っているが女子が低いため、全体で 58% となっている。
- ・ 元気いっぱいの学校にするには挨拶は必須。
- ・ 進路実現につなげていくためには、生徒のモチベーションをあげていく必要がある。

3. 学校運営体制の強化・改善

- (1) ウ「学校運営に教職員の意見が反映されている」が、H28 年度 48.3⇒60%にする予定だったが、31%しか肯定的回答がない。校長に伝えても…という意識があるように思う。
- (2) ア「研修の実施回数について」研修を多くしすぎているのではないか? という意見もあるため減らす方向へ
- (3) イ「地域連携」挨拶運動、美化活動を中心にしていくべきではないか

(2) 「平成 29 年度学校経営計画」について

中期的目標

1. 1 確かな学力の育成

(2)ア 英検、漢検に力を入れる→これから大学受験が変わる

英検に関しては全員受験を目標に取り組む

⇒大学進学率 7 割に復活、10 割の生徒が希望進路実現

2. 2 自己実現の支援

規範意識の涵養

(3)ウ 遅刻者数を 3 年間で半減させる (2500 くらいまで)

(4)ウ 部活加入率を 65%にする→学校を変えるのに必要

3. 3 学校運営体制の強化

(5)特定の者への仕事が増。やらなければならない仕事、時間のかかる仕事が増えていく一方となっている。

(3) 本校の現状と課題について

- ・ 英語科はデジタル教科書を利用 (現状はほぼ利用している)
- ・ ブルーレイプレイヤーを 8 台購入。生徒向けの講習に使用できるように活用
- ・ 観点別評価の完全導入の必要あり。新要領に変わる前にやらないといけない。
- ・ AL などの授業方法は授業者が欲しい、といったものではない?
⇒教員側が受け入れる必要があるように思う。
- ・ ルールを守っていきたいのは学校か生徒か?自分たちがやりたい、と思える環境を作っていく必要がある。
- ・ 生徒会活動の会長になりたい、という生徒が少ない。「活発」という感じが無い。
- ・ 港高校に入って何かしたい!と思わせる必要がある
- ・ 港を選んだ理由は何?と聞かれても大きな目的は持っていない生徒が多い
⇒港に行ったらこれ!というようなものを出せないか?出しにくいとは思いますが、そういったものがあれば港高校を推しやすくなる
- ・ 生徒がどこへ行けばいいかわからない。といった生徒に対しての F システムを利用したり、生徒がやりたいことを探していくための考えさせるキッカケとなるものを使っていく必要がある。
⇒生徒のやる気をどうやって同じ方向へ向けていくか?
⇒考えさせる、やらせてみる、できた!ではできないのか?
- ・ 部活と進路、両立させる?どちらにするのか、どちらも頑張れ、でどっちつかずになっている。
- ・ 大学へ行った後、どうするのか、を考える時間がもつといるのか?
→高校で突然考え方が変わるものではないが…

(4) その他

4. 諸連絡

次回の学校協議会は授業見学等。